



# 中京圏における 地震防災 ホームドクター計画

2001 2010

## 10年のあゆみ



名古屋大学大学院環境学研究科  
名古屋大学災害対策室

## 活動の理念と成果

地域住民・行政・企業の連携協働による地域防災力向上を大学が「要」となって支える

東海地域は東海・東南海・南海地震による広域巨大災害、内陸活断層の地震、さらには台風・豪雨による風水害など、歴史的に自然災害を頻繁に被ってきた。今後も繰り返す大規模災害を軽減するためには、地域の様々な主体が力を合わせる事が必須であり、大学はその繋ぎ手の役割が期待されている。

「中京圏における地震防災ホームドクター計画」は大学・市民・行政・マスコミ・企業等の適切な役割分担に基づく緊密な協働により、中京圏の地震防災力の向上のための活動を継続的に推進するものである。平成13年にスタートし、平成14～15年度の文部科学省地域貢献特別支援事業や、その後の名古屋大学の社会貢献事業により展開を続けた。大学のもつ研究成果やアイデア、教育力・開発力により「ヒト・コト・モノ」の各側面から継続的に活動し続けることで、社会の信頼感が醸成され、地域をまとめる求心力となり、着実な成果につながってきた。

地域の様子を常に見守りながら、災害が起きる前により強く健全なまちをめざす地震防災ホームドクターの活動は、地域の防災文化として定着し、地域防災のあり方のモデルケースとして注目されている。

### ヒト・コト・モノの各側面から地域防災活動を支援

ヒト：地域防災を支える人材の育成

防災教育と防災普及啓発

専門家のネットワーク構築・支援

専門家と地域住民をつなぐ媒介者の育成・支援

コト：地域防災を支える組織・拠点の構築

研究・技術、プロジェクトの展開

地震・地震動・地盤・都市情報のデータバンク

モノ：地域防災を支える災害/防災情報システム

耐震・防災教材や資料の開発と活用

耐震改修工法の開発



## 地震防災ホームドクター計画によるプロジェクト

地域貢献特別支援事業「中京圏における地震防災ホームドクター計画」

平成14～15年度文科省事業、平成16年度以降は大学の総長裁量経費で継続実施

ヒト・コト・モノの基盤となる体制の構築と継続的な社会還元の実践

防災研究成果普及事業「行政・住民のための地域ハザード受容最適化モデル創出」

平成16～18年度文科省事業

地域防災啓発手法とシステム開発を展開 「防災フェスタ」や「愛知県防災学習システム」へ  
あいち地域防災力向上協議会（ATAACK） 大学・行政・ライフライン・NPOの連携の枠組

地震災害軽減連携融合事業・愛知建築地震災害軽減システム研究協議会（減災協議会）

平成17～19年度、20～22年度文科省事業（継続中）

名古屋大、名古屋工業大、豊橋技術科学大の建築構造系で耐震化の施設整備と技術開発を展開

愛知建築地震災害軽減システム研究協議会 大学・行政・建築界の連携による耐震化・減災の枠組

愛知県設計用入力地震動研究協議会

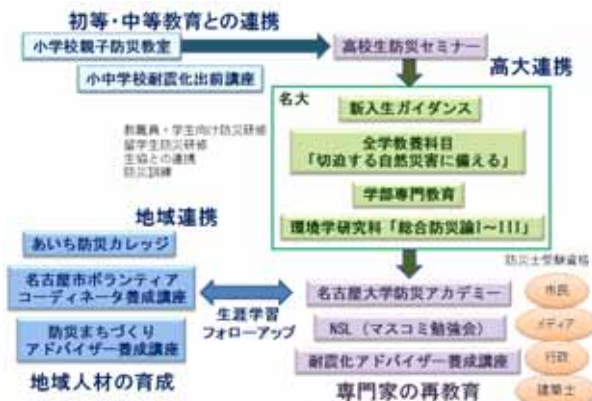
1999年から継続、愛知県内の建築耐震設計の高度化に寄与

国の地震動予測地図、長周期地震動策定のさきがけ

# 名古屋から芽生えた地域防災文化の展開(主な例)

## 防災教育・人材育成の体系化と国際化

実施主体や企画の対象および目的に応じた適切な連携を模索しながら、多様な防災教育・人材育成を展開し、その体系化と体制整備を目指している(右図)。対象は小中学校、高校、大学・大学院から一般市民・専門家まで含んでいる。これらの成果は海外でも注目され、ルーマニアでの防災普及啓発(JICA)、中国の耐震技術者育成プロジェクトなどにつながっている。



名古屋大学がリードする防災教育の枠組み

## 地域防災を支える専門家の連携

当地域では、地域の様々な主体が自発的に活動しつつ、互いに連携し、マスコミ、職場、地域、学校など様々な場を通じて減災行動を誘発することに成功しつつある。その状況は、「恐るべし名古屋」と称され、内閣府による「災害被害を軽減する国民運動」の見本ともいえる。

2001年に始まった「マスメディアと研究者のための地震災害に関する懇話会(NSL)」は、名古屋周辺の報道機関と大学と行政機関が、平常時から連携を深め、災害軽減について議論する場として継続している。その結果、名古屋発の地震特番は充実し(8ページ)、2009年には「日本災害情報学会廣井賞(社会的功績部門)」も授与された。

建築・都市の耐震安全性向上のための「愛知建築地震災害軽減システム研究協議会(減災協議会)」は、地域の大学・行政の建築部局や建築業界の協働により、耐震化技術開発や普及啓発を推進している。2009年には「日本耐震グランプリ」を受賞した。



「恐るべし名古屋」と称された名古屋地区の防災協働ネットワークとNSLの位置づけ

## 住民・ボランティアの連携協働によるイベント

2007年に始まった防災フェスタは、ボランティア、行政、専門家、大学などの参加で企画・実施される地域密着型の連携防災イベントである。それぞれで工夫した防災普及啓発コンテンツを持ち込み、名古屋市と周辺を巡回して順次開催することで、自発的・継続的かつ発展する体制とした点に特徴があり、地域防災イベントの新たな形を提示するものとして高い評価を受けている。2010年には内閣府が主催する防災フェアと連携する形で実施された。



日本耐震グランプリ

日本災害情報学会 廣井賞

## 防災教材 / 防災基礎情報の充実

防災教材「ぶるる」は、2002年頃から始まり、バリエーションを充実してきた(8ページ)。これらの防災教育教材開発と啓発の実践に関して、平成19年度「文部科学省大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)」を受賞した。

大都市圏強震動総合ネットワークは、自治体等の協力により地震波形データ(1996年頃~)を蓄積している。また三重県(2005~07)、岐阜県(2009~10)の要請により、両県の詳細活断層地図を作成した。さらに、文部科学省委託研究により、長野県・山梨県内の糸魚川-静岡構造線活断層の詳細地図も作成した。いずれも防災基礎情報として、インターネットを通じて一般に公開されている。



防災フェスタ 2007 in 名古屋大学 (2007.3.4開催) ボランティアによる防災コントの様子

～	2001(H13)	2002(H14)	2003(H15)	2004(H16)	2005(H17)	2006(H18)	2007(H19)	2008(H20)	2009(H21)	2010(H22)	～
<b>周辺状況</b>	阪神淡路大震災(1995) 東海豪雨(2000)	東海地震震源域見直し (中央防災会議)	十勝沖地震(長周期地震動) 東海地震対策大綱 東南海・南海地震対策大綱 (中央防災会議)	新潟県中越地震 スマトラ地震・インド洋 大津波	首都直下地震対策大綱 (中央防災会議)	災害被害を軽減する国民 運動(内閣府) 防災フェア2006 inなごや	能登半島地震 新潟県中越沖地震 イノベーション25 緊急地震速報開始	岩手・宮城内陸地震 四川大地震	中部圏・近畿圏直下地震 対策大綱(中央防災会議)	チリ地震津波 ハイチ地震	南海トラフの地震？ 内陸活断層の地震？
<b>プロジェクト</b>	ホームドクター宣言 (2001.12) 安全安心学連携プロジェクト	地域貢献特別支援事業(文科省) 「中京圏地震防災ホームドクター計画」		防災研究成果普及事業(文科省) 「行政・住民のための地域ハザード受容最適化モデル創出」	地震災害軽減連携融合事業(文科省事業、工工大・豊橋技大と連携) 「耐震実験施設の効率的運用による東海地域の地震災害軽減」			地震災害軽減連携融合事業(文科省事業、工工大・豊橋技大と連携) 「地震に強いまちづくりのための減災技術の開発と評価」			減災連携研究センター 発足(2010.12)
<b>組織</b>	環境学研究所発足 (2001.4)	災害対策室発足 (2002.10)	地震火山・防災研究 センター改組(2003.4)								
<b>専門家の連携、情報交換、能力向上</b>	名震研(1998～現在) NSL(2001～現在) 防災に関する愛知県・名古屋市・大学交流会 (2001～現在)	 名震研(名古屋地域地震防災研究会) 行政、公益企業、大学等の防災情報交換会	 NSL(Network for Saving Lives) メディア、行政、大学等の防災勉強会	減災協議会(05～現在、 連携融合事業の枠組み で立ち上げ) あいち地域防災力向上 協議会(04～06)		 減災協議会の一般向け耐震相談、耐震化 技術開発や技術者の研修などにも取り組む	 青少年耐震まちづくり講師 養成講座(愛知県、～現在) 建築士が学校教育参画 耐震化アドバイザー養成 講座(愛知県、～現在)	 減災協議会が、日本 耐震グランプリを受賞 NSLが日本災害情報 学会廣井賞を受賞	 一般市民への普及啓発のノウハウが蓄積されている		
<b>ヒト</b>	市民対象の普及啓発、 講演 行政の施策・調査・開発 等に参画 業界団体、商工会議所、 JAなどのネット 学生、生協、サークル等 防災まちづくり支援 国際防災	地震防災セミナー(～03 以後はアカデミー) FEENA(02～05、 建築技術者のセミナー。 07からはESPERに) あいち防災カレッジ (愛知県、02～06) 名古屋市ボランティア コーディネータ養成講座 (名古屋市、～現在) 親子防災スクール(静岡 県、02)	ATAC(～現在、県庁の 若手建築技術者勉強会) FEENA(02～05、 建築技術者のセミナー。 07からはESPERに) あいち防災カレッジ (愛知県、02～06) 名古屋市ボランティア コーディネータ養成講座 (名古屋市、～現在) 親子防災スクール(静岡 県、02)	防災アカデミー(～現在) 高校生防災リーダー 育成(愛知県、03～ 2010年は高大連携)	防災フェスタin名大 (防災研究成果普及事業) 「恐るべし!名古屋」出版 防災まちづくりアドバイザー 養成講座(愛知県、～現在)	防災フェスタin港区 ESPER(～現在、 耐震・地震防災技術者 と研究者の勉強会)	防災フェスタin緑区	防災フェスタin岡崎 防災フェスタin安城 あいち防災リーダー塾 (2009～現在)	防災フェスタ 2010 in久屋大通 高大連携(愛知県教育 委員会と連携、高校生 防災教育)		
<b>普及啓発、防災教育、地域をリードするメディア育成、防災イベント運営</b>	愛知県設計入力地震動 研究協議会(1999～現在、 建築設計者と研究者により 地震動を策定) 建物・地盤の地震観測、 常時微動のデータ蓄積 (1996～現在) 災害調査・資料収集 プロジェクト展開 (1995兵庫県南部地震、 2004スマトラ地震など多数)	地域防災交流ホール、災害アーカイブは、地域住民 の防災活動・交流拠点として整備。	地域防災交流ホール、 災害アーカイブ整備	中越地震、スマトラ地震 災害調査	ハザードマップ作成支援 多言語防災情報	防災研究成果普及事業 ・地域ワークショップ	能登半島地震・新潟県 中越沖地震災害調査	愛知県防災学習システム 一般公開	浮世絵資料による災害 危険度説明性向上	中京圏地盤データベース構築開始 地域防災データベース構築へ	
<b>コト</b>		 地域防災交流ホール、災害アーカイブは、地域住民 の防災活動・交流拠点として整備。	 NHK名古屋2004.2.16放映	 多言語防災情報翻訳システム	 地域防災力向上シミュレータを 思案したワークショップ実施	 新潟県中越沖地震被害調査	 防災研究成果普及事業の成果を 愛知県が活用して一般公開。	 かつての地盤状況から、地域の 災害危険度をわかりやすく説明	 地域の地盤・建物・社会党のデータバンク構築と 大規模災害時の被害と地域対応力の評価		
<b>モノ</b>	振動挙動実験システム96 環境振動監視システム96 大都市圏強震動総合観測 ネットワーク稼動(2000～) 安震システム(2000～)	防災教材「ぶるる」 シリーズ開発開始 ～現在も開発継続中	防災拠点創成・地域 協働支援システム開発	地域防災力向上シミュ レータ開発	名大探検マップ ストローハウス	次世代震度計「SWING」 の開発(三重県と共同)	可搬微動計測装置 「ミクロン」の開発	大型震動体感装置 「BiCURI」の開発	活断層情報ステーション、 卓上震動実験、地震 体感などの開発・公開	バーチャル地震応答体感システム 「EVEREST」の開発 一人ひとりの地震危険度の実感へ	
<b>教材、資料、システムなどの開発・活用</b>	 ぶるるシリーズ1号「手回しぶるる」	 手軽なペーパークラフト「紙ぶるる」	 木造住宅の耐震性と倒壊状況をリアルに再現する「倒壊ぶるる」			 SWING: ネットワーク接続など 次世代の基準に対応	 ミクロン: 計測から分析まで オールインワン	 BiCURIは搭載型振動台と背景映像が同期した震動体験システム		 EVERESTは、任意の場所・建物のゆれを映像で 擬似的に体験するもの、ウェブで閲覧できる。	

## 中京圏地震防災ホームドクターの活動(資料編)

### プロジェクト 地域防災の重要課題にトータルに取り組む。

**安全安心プロジェクト**：名古屋大学環境学研究所の連携プロジェクト。2001～継続中。地震防災ホームドクター計画の基礎であり、地球・都市・社会の専門家が結集している。**地域貢献特別支援事業「中京圏における地震防災ホームドクター計画」**：文科省事業 02～03、名古屋大学 04～継続中。**防災研究成果普及事業「行政・住民のための地域ハザード受容最適化モデル創出事業」**：文科省事業 04～06。高解像度の地域ハザード情報により、行政と住民による自発的防災活動を誘導する枠組みを構築。愛知県防災学習システムへ発展。

**耐震実験施設の効率的運用による東海地域の地震災害軽減連携融合事業**：文科省事業、05～07。地震に強いまちづくりのための減災技術の開発と評価：08～10。県内3大学連携融合事業。行政・建築関係者と連携した愛知建築地震災害軽減システム研究協議会(減災協議会)は09年11月に耐震グランプリを受賞。

### ヒト 地域のさまざまな層に向けた防災教育・普及啓発・情報交換・連携活動および人材育成。

**NSL (Network for Saving Lives)**：マスメディア・行政・大学による防災懇話会。2001～継続中、月1回程度開催で70回を超えた(7ページ)。09年10月に日本災害情報学会廣井賞(社会的功績部門)受賞。

**名震研(名古屋地域強震観測研究会→名古屋地域地震防災研究会)**：自治体・公益企業・大学の防災担当者の情報交換会。1998～継続中、年2～3回程度開催。

**愛知県設計用入力地震動研究協議会**：地元の設計者・建設会社の拠金による研究協議会。1999～継続中。地域の標準的設計用入力時震動を策定。

**地震防災に関する愛知県・名古屋市・大学交流会**：行政の防災・建築・教育等の部局と名大の関連研究者による意見交換会。2001～継続中、年1～2回開催。

**あいち防災カレッジ**：愛知県防災局主催 02～06。防災意識啓発の地域リーダーを育成。修了生のあいち防災リーダー会(APLA)の活動支援・連携。

**防災リーダー塾**：07～、APLA 主催、名大環境学が共催。

**名古屋市ボランティアコーディネーター養成講座**：名古屋市民経済局主催 02～。修了生は各区で災害ボランティアの会を組織し、なごや災害ボランティア連絡会がまとめる。名大は講座や防災フェスタ運営などで連携。

**防災まちづくりアドバイザー養成講座**：愛知県建築局主催 06～09。修了生は地域の住宅耐震化や家具固定をリードする。

**学校との防災教育連携**：親子防災スクール(静岡県 02)、親子参加型地震防災教育(愛知県 03～04、各市町村で継続)、高校生防災セミナー(愛知県 04～)→高大連携(愛知県と名大が連携 2010)、小中学校耐震出前講座(愛知県・減災協議会 07～)。いずれも名大が実施等を支援

**地域ぐるみの耐震協議会**：安城暮らしと耐震協議会、木造耐震ネットワーク知多など。07～

**耐震化アドバイザー養成講座**：建築士を対象。減災協議会

**青少年耐震まちづくり講師養成講座**：愛知県主催 08

**あいち防災協働社会推進協議会**：愛知県 07～。災害に強い地域づくりにむけて行政と各種団体が連携。

**災害被害を軽減する国民運動**：内閣府 06～。名大の防災教材も引用されている。防災推進協議会にて活動を開始 10～**防災アカデミー**：名大を会場とした公開防災講演会。03～継続中、毎月開催(7ページ)。

**生協・学生との連携**：名大生協、名大サークル「震災ガーディアンズ」、学生広域連絡会「防災ユースフォーラム」との連携・協働、03～継続中。

**ATAC (Aichi TAishin Challenge)**：愛知県庁の若手建築技術者と大学研究者の勉強会。03～継続中、年数回開催。

**ESPER (Earthquake engineering & disaster mitigation Seminar for Professional Engineers and Researchers)**：地域の耐震・地震防災を担う技術者と研究者の勉強会。07～継続中、隔月。**パリ建築大学(ENSA-PVS)との連携**：アジア各国とも連携した防災プロジェクトや教材開発など 07～

**海外の耐震・防災教育**：JICA・建築研究所に協力、ルーマニア防災啓発 06～07、中国耐震建築技術者養成プロジェクト研修 09～

**防災でも元気印「恐るべし名古屋！」** その仕掛け人たち：時事通信オンデマンドブックレット、07年2月発行。

**東海地震がわかる本**：気軽に読める地震・災害・防災の本。03年4月発行。

### コト 地域防災活動を支える技術、データ、拠点の開発・整備

**地震・地盤・建物データ**：多数の調査観測によるデータ収集・整理・公開 1991～。廃棄された強震計による観測体制整備 07～、非専門家との連携観測「Pネット」08～、自治体震度計更新と旧機材活用 09～

**災害調査・資料収集**：1995 兵庫県南部地震、04 新潟県中越地震、04 スマトラ地震、06 ジョグジャカルタ地震、07 能登半島地震、07 三重県中部地震、07 新潟県中越沖地震、08 中国四川地震などの被害調査。名所図会・浮世絵・歴史資料によるかつての地盤状況検討 09～、地域地盤情報 10～**地域防災交流ホール・災害アーカイブ**：03～。地域防災啓発活動の場の整備と利用、地域防災資料の収集と整理。

**行政の調査等への参画**：中央防災会議、内閣府、気象庁、文科省、愛知県・名古屋市等の調査に、専門的立場から方針決定や調査の監修などで参画。東海・東南海地震等の被害予測調査、濃尾平野等の深部地下構造調査、三重県活断層調査など。

**ハザードマップ作成支援**：名古屋市、新城市、一宮市ほか。**建築構造と耐震設計の支援**：愛知県設計用入力地震動研究協議会などを通じて、地域の建築の耐震性能向上に寄与。**防災教育・啓発の体系化と支援**：小・中・高校生と教員を対象として、学校から地域へ発信する防災教育を推進。

### モノ 地域防災活動を支える情報システム、教材、資料など

**防災関連情報システム**：構造物振動挙動実験システム、環境振動監視システム、双方向災害情報システム「安震システム」、大都市圏強震動総合観測ネット、自然言語 e ラーニング、建物強震観測公開ウェブ、防災拠点創成・地域協働支援システム、地域防災力向上シミュレータ、名大探検マップ、深部地盤構造データベース、相互運用による新・大都市圏強震動総合観測ネット、Google Earth による地域防災 GIS、公共施設耐震性 GIS、iPod によるユビキタス防災情報、震度6強体験シミュレーション(内閣府作成の協力)、多言語防災情報翻訳システム、糸魚川-静岡構造線 活断層情報ステーション、三重県詳細活断層図(防災みえ.jp)、岐阜県詳細活断層図(岐阜県)など多数。

**計測機器等**：廉価強震計 E-catcher、次世代型震度計 SWING、建物簡易計測装置ミクロン、長周期微動計測装置

**体感型振動・耐震教材**：ぶるるシリーズ：「手回しぶるる」02、ペーパークラフト「紙ぶるる」03、簡単で奥深い「ストローハウス」05、大型震動体感装置「BiCURI」08、倒壊・再建「ピノキオぶるる」08、卓上震動実験「マイホームぶるる」09、簡易震動体感「動くハザードマップ」09、ウェブ版簡易震動体感「EVEREST」10、ヘッドマウントディスプレイ 10 など。グッドデザイン賞 07、建築学会教育賞 08、地域安全学会技術賞 08、世界地震工学会議出展 08。

**啓発用教材・グッズ製作と貸出**：パネル、防災いろはかるた(NHK 名古屋)、防災手帳、特集記事、各種パンフレット製作など

**イベント 行政、市民、産業界、大学などの協働**

**毎年恒例の行事：防災&ボランティアフォーラム、ハウジング&リフォームあいち、ほかに耐震化啓発ブースを出展。**  
**全国的・国際的行事：国連防災世界会議 05、防災フェア 2006 in なごやなど。**

**NSL 開催概要**

	日付	内容
1	01/4/6	発足式：地震・活断層・耐震
2	01/5/21	固着域と東海地震、活断層の定義をめぐる諸問題
3	01/6/27	耐震診断と耐震改修、東海地震震源域見直し、南海トラフの巨大地震
4	01/7/30	東海の異常地殻変動について
5	01/9/12	WTC 崩壊の原因について (WTC 崩壊の当日)
6	01/10/12	東海の異常地殻変動について (その後)、よくわかる建物の耐震設計 (1)
7	01/11/26	よくわかる建物の耐震設計(2)、養老一桑名-四日市断層帯の評価結果
8	01/12/19	中央防災会議による東海震・東南海地震の震度評価、名大の取組み
9	02/2/4	揺れを体感し被害を考える、中京 TV の地震災害軽減への取組み他
10	02/3/15	想定震度はどのように計算されるのか
11	02/4/26	スローイベントシンポジウム報告：何がわかったか、地盤と建物のゆれ
12	02/6/6	愛知県の東海地震対策、活断層詳細デジタルマップ、地盤と建物のゆれ
13	02/8/5	ナウキャスト
14	02/9/20	ナウキャスト
15	02/10/8	地震直前予測への新しい試みと静岡住民からみた東海地震観
16	02/11/20	震央・震源・震源域、防災社会学：防災の社会システムを設計する
17	02/12/25	想定震度はどのように計算されるのか (つづき)
18	03/2/14	阪神大震災での課題 (その1) 活断層と建物、東海道沖の地震
19	03/3/25	阪神大震災での課題 (その2)：災害情報について、災害報道について
20	03/5/7	地震災害と外国人、内陸地震の予知はなぜ難しいか
21	03/6/23	長期的なビジョンに立った真の防災対策とは？
合	8/3-4	夏合宿：静岡市および浜岡町
22	03/9/24	新たな東海地震予知情報について
23	03/12/1	2003 年十勝沖地震
24	03/12/8	津波災害と地域の防災
25	04/2/17	低周波地震・富士山・伊豆諸島の火山
26	04/3/12	N S L 発足 3 周年を迎えて、今後の進むべき方向
27	04/4/26	早わかり 東海地震・東南海地震
28	04/5/31	東海地震・東南海地震をめぐる国の対策の現状と課題、今後の展望
29	04/6/15	津波から探る海溝型超巨大地震 (アルマゲドン地震)
30	04/7/13	科学の目で見える大震災の記録：関東地震を例にして
新	04/7/24	新人ジャーナリストのための一日勉強会
合	04/9/3-4	夏合宿：三重県南勢町・南島町・紀勢町・紀伊長島町・尾鷲市
31	04/10/19	2004 年 9 月 5 日の紀伊半島沖・東海沖地震から何を学ぶか
32	04/12/2	新潟県中越地震、台風・水害：地震：2004 年を振り返り新年に備える
34	05/1/24	津波、スマトラ沖地震の解説
35	05/3/14	メディアの討論
36	05/4/14	地震考古学による発見
37	05/5/16	静岡県の防災
38	05/6/20	三重県の地震防災対策
新	05/7/23	新人ジャーナリストのための一日勉強会
合	05/8/5-6	夏合宿：三河湾周辺地域
39	05/10/5	災害時の救急医療
40	05/11/25	解かれた封印 雲仙大火山噴火・3 7 8 秒の遺言をめぐって
41	05/12/19	地震動予測地図ができるまで
42	06/1/31	南海トラフ巨大地震発生サイクルと地下構造要因との関連について
43	06/2/28	大規模災害における高度道路交通システム
44	06/4/28	国の地震対策・河川災害対策
45	06/6/7	気象庁の緊急地震速報と放送での取り扱いについて
46	06/6/27	原子力発電所耐震設計指針の見直しについて
新	06/7/15	新人ジャーナリストのための一日勉強会
合	06/7/30-31	夏合宿 濃尾平野・高山・東濃
47	06/10/26	日本の防災行政の進展と災害被害を軽減する備えの実戦に向けて
48	06/11/20	スーパー災害：天変地異について
49	06/12/7	富士山ハザードマップにまつわる話題
50	07/2/8	命を救うための報道、地震工学：地震防災研究の今年の話題
51	07/5/8	南海トラフでの巨大地震に関する最新の知見
52	07/6/14	三重県中部で起きた地震
53	07/8/17	原子力発電所と地震
54	07/10/1	緊急地震速報
55	07/12/6	名古屋の都市計画
56	08/2/8	震災時の災害弱者のアレルギー患者ネットワーク、2008 年の展望
新	08/3/1	新人ジャーナリストのための一日勉強会
57	08/4/2	津波をとりまく諸問題について
58	08/5/21	災害時の警報基準について
59	08/6/27	四川省の地震、岩手・宮城の地震
60	08/8/25	最近の地震について、揺れと建物への影響
61	08/12/15	8 月 29 日豪雨時の岡崎市役所の対応、豪雨災害時のボランティア活動
62	09/2/2	今年の防災関連のポイント、公共コモンズ東海実証実験
新	09/3/8	新人ジャーナリストのための一日勉強会
63	09/4/6	伊勢湾台風の教訓 第 1 回 伊勢湾台風とは
64	09/5/8	第 2 回 伊勢湾台風級大型台風による伊勢湾海域の高潮について
65	09/6/5	第 3 回 庄内川流域での水防対策
66	09/6/25	新しい全国地震動予測地図について
67	09/10/15	駿河湾地震の対応
68	09/12/4	南海トラフ巨大地震 再来への備えと山積する課題
69	10/1/27	阪神大震災から 15 年 あの日に改めて
70	10/2/25	阪神・淡路大震災から 15 年 メディアの役目を考える
新	10/3/20	新人ジャーナリストのための一日勉強会
71	10/3/24	気象警報・注意報の市町村ごとの発表について
72	10/4/28	阪神・淡路大震災から 15 年 第 3 回
73	10/5/26	阪神・淡路大震災から 15 年 第 4 回 民間放送局はどう伝えてきたか
74	10/6/22	阪神・淡路大震災から 15 年 第 5 回 命の尊さを語り継ぐ
75	10/7/24	東海豪雨 10 年 当時の振り返り、その後の対策を学び考える
76	10/9/16	東海、東南海、南海地震 3 連動についての最新情報
77	10/10/19	四大地震被災地の現状
合	10/11/5-6	合宿 尾鷲・熊野
78	10/12/6	東南海地震基礎講座

**防災フェスタ：地元ボランティアが主導する防災啓発行事。**  
 名大 07.3、港区 08.3、緑区 08.11、岡崎 09.9、安城 09.12、  
 久屋大通 10.8 と継続して開催、11.8 も開催予定。

**防災アカデミー(地震防災連続セミナー)開催概要**

	日付	内容
地震防災連続セミナー		
1	03/1/15	安藤雅孝(名大環境) 東海地震・東南海地震の真の姿
2	03/2/20	福和伸夫(名大環境) 地震！ そのときあなたは？-揺れと被害-
3	03/4/25	武澤純(名大医) 地震と救急医療
4	03/5/21	里村幹夫(静岡大) 静岡大学における地震対策
5	03/7/11	倉本洋(豊橋技大) 学校施設の地震被害・耐震性と耐震改修
6	03/9/25	林春男(京大) いちを守る地震防災学
7	03/10/30	山岡耕春(名大環境) 地震予知はできるのか？ 名古屋大学の対応は？
8	03/12/10	北原系子(国立歴史民俗博) 災害社会史からみた名古屋の近世と近代
9	04/1/21	岡田弘(北大) 火山防災から学ぶ
10	04/2/23	吉川肇子(慶応大) リスク・コミュニケーションと災害情報
防災アカデミー		
1	04/5/20	鈴木康弘(名大環境) 阪神・淡路大震災から 10 年目を迎えて
2	04/6/1	藤原広行(防災科研) 現在と未来の強震動-地震動の観測と予測-
3	04/7/13	武村雅之(鹿島小堀研) 科学の目で見える大震災の記録
4	04/10/12	伊藤和明(元 NHK 解説委員) 歴史に見る地震と土砂災害
5	04/11/11	平嶋義彦(名大生命農学) 木造住宅の耐震性能を考える-歴史・文化・技術の側面から
6	04/11/16	辻本哲郎(名大工学) 治水と水防災
7	04/12/8	笹本正治(信州大) 災害文化をめぐって-土石流を中心に-
8	05/4/21	平原和朗(名大環境) 地震発生予測に挑む
9	05/6/7	石黒耀(作家) 災害国に生きる私たち
10	05/6/28	日黒公郎(東大) 間違えだらけの地震防災-学ぶべき本当の教訓と今やなくてはならないこと
11	05/7/19	藤井直之(名大環境) 成熟した自然災害観をはぐくむ
12	05/9/6	吉川幸子(名大医) 災害時の排洩 出さなければならない理由・出せなくなるわけ
13	05/10/7	岡田成幸(名大工) 個人防災のオムニバス 家族を守る防災ツールなど
14	05/11/7	林能成・木村玲玖(名大災害対策室) 三河地震 60 年目の真実
15	05/12/12	細川頼司(財) 市民防災研究所) ゲームで学ぶ防災の知恵
16	06/1/20	鈴木康弘(名大環境) 震災から 11 年、活断層問題を考える
17	06/2/21	都司嘉宜(東大) 東海地方の歴史災害から学ぶ
18	06/4/17	島崎邦彦(東大) 地震だけ日本人-長期評価の十年-
19	06/5/25	勅使川原正臣(名大環境) 鉄筋コンクリート造住宅の耐震性能
20	06/6/19	寒川旭(産業技術総合研) 遺跡が語る地震の歴史-地震考古学への招待
21	06/7/4	坪木和久(名大地球水循環研究センター) 竜巻と台風の話
22	06/9/19	小山真人(静岡大) 火山と共生する社会 -富士山を例として
23	06/10/16	岡田恒男(東大名誉教授) 耐震補強のこれから
24	06/11/10	中村豊(株 SDR 代表、東工大客員教授) 情報と地震防災
25	06/12/21	安藤雅孝(名大環境) 南海トラフ巨大地震の残された謎
26	07/1/16	西澤泰彦(名大環境) 濃尾地震と建築物の耐震化
27	07/2/20	海津正倫(名大環境) スマトラ津波が人々を襲った衝撃
28	07/4/18	小嶋富男(前 NHK 災害センター長) 災害時緊急報道で活躍する放送システム
29	07/5/29	山岡耕春(名大環境) どこまでできる地震予知
30	07/6/27	浅岡顕(名大工) 液化化の謎に迫る -地盤工学のアプローチ-
31	07/7/17	小林郁雄(神戸山手大) 復興まちづくりへの挑戦
32	07/9/12	小泉尚嗣(産業技術総合研) 地下水で東南海・南海地震を予測する
33	07/10/15	川口淳(三重大) 地域の防災力向上のために-地域圏大学三重大の挑戦
34	07/11/12	中林一樹(首都大) 東京の防災まちづくりと耐震補強の現状および課題
35	07/12/7	中島正愛(京大) 強く安全な建物をどう造るか-技術開発の検証としてその役目を果たす構造実験
36	08/1/10	簗谷威(名大環境) ひずみ集中帯 -内陸大地震の謎を解き明かす鍵?
37	08/2/18	高橋誠(名大環境) スマトラ津波と復興-私が災害研究に惹かれたわけ
38	08/4/21	大石昇司(札幌市南区津川地区連合会会長) 地域ぐるみで守る!
39	08/5/29	柴田いつみ(建築家/滋賀県立大) まちが崩壊する前に
40	08/6/16	入倉孝次郎(愛工大客員教授/京大名誉教授) 原発と地震
41	08/7/18	宇井忠英(環境防災総合政策研究機構) 三松正夫が種を蒔いた火山防災文化-北海道・有珠山では何が行われてきたか
42	08/9/17	水谷法美(名大工) 沿岸防災と海岸工学
43	08/10/24	熊谷博之(防災科学技術研) 世界に広がる日本の火山監視技術
44	08/11/17	首藤伸夫(日大/東北大名誉教授) T S U N A M I 文化を世界へ!
45	08/12/11	羽賀文信(長岡市国際交流センター長) 外国人とどうつきあうか? 災害時の異文化コミュニケーション
46	09/1/20	古村孝志(東大地研) 観測データとコンピュータシミュレーションで見る地震の強い揺れ
47	09/2/27	岡本耕平(名大環境) 多文化共生社会と防災
48	09/4/22	隈本邦彦(江戸川大学) 大震災をメディアはどう伝えたか
49	09/5/22	広瀬弘忠(東京女子大) 人はなぜ逃げ遅れるか-災害防衛論入門
50	09/6/8	林春男(京大防災研) リスクに立ち向かう-組織の危機管理入門-
51	09/7/14	須見徹太郎(東大) 検証 2008 年 8 月末豪雨災害-突発的水害をどう知り、どう伝えたか
52	09/9/9	久田嘉章(工学院大) 地域と連携した超高層ビルの地震防災
53	09/10/21	森崎益輝(関西学院大) 防災の新しい考え方・減災と危機管理
54	09/11/11	溝口常俊(名大環境) 鸚鵡籠中記に見る自然災害
55	09/12/18	中川和之(時事通信社) 伝え手から見た阪神淡路大震災 15 年 (1)
56	10/1/20	磯辺康子(神戸新聞社) 伝え手から見た阪神淡路大震災 15 年 (2)
57	10/2/4	田中重好(名大環境) 災害は短く、その思ひは長い:災害観再考
58	10/4/26	田所敬一(名大環境) 音で探る海溝型地震
59	10/5/24	瀧美公秀(大阪大) モシモの時、地震は? そのためにイツモ防災を!
60	10/6/17	和泉正哲(東北大名誉教授) 未来を見据えて具体的な対策を
61	10/7/21	辻本哲郎(名大工) 東海豪雨から 10 年
62	10/9/24	村山頼人(名大環境) 都市のマスタープランと防災
63	10/10/14	矢守克也(京大防災研) 防災教育のフロンティア
64	10/11/9	岩田孝仁(静岡県危機管理部) 減災社会を築く
65	10/12/2	今村文彦(東北大) 1960 年と 2010 年のチリ沖地震津波について
66	11/1/19	桜井誠一(神戸市役所) 私の体験的危機管理
67	11/2/10	船木伸江(神戸学院大) 阪神・淡路大震災を語り継ぐ

名古屋民放各社の地震特番(企画等で連携)

番組タイトル	TV局
02/9/19 迫り来る！巨大地震①東海地震の基礎知識と防災のイロハ	CBC
03/1/19 迫り来る！巨大地震②防災の疑問・質問Q&A	CBC
03/1/20 200XX年東海大地震！その時あなたは！	THK
03/5/25 迫り来る！巨大地震③地震対策の現状と課題 自治体本音トーク	CBC
03/7/13 200XX年大地震！その時あなたは・・・	THK
03/9/15 巨大地震からのサバイバル！～あなたは家族を守れますか？	CTV
04/2/29 迫り来る！巨大地震④命のメッセージ・時空を越えて	CBC
04/9/23 巨大地震からのサバイバル ～20XX年「東海地震」発生・・・その時あなたは？～	CTV
05/1/15 激震！津波！迫る危機・いのちを守るために	THK
05/9/11 迫り来る！巨大地震⑤知られざる地震・津波の恐怖	CBC
05/10/22 巨大地震からのサバイバル ～衝撃！そして悲しみ・・・新潟・中越地震の教訓！！～	CTV
05/12/24 12歳...命をつなぐ授業～大津波の悲劇を繰り返さないために～	CTV
06/1/15 巨大地震！これだけの危険・東海地震完全シミュレーション	THK
06/1/31 待たなし！地震対策	THK
06/9/2 迫り来る！巨大地震⑥クライシス その時人は	CBC
06/9/23 巨大地震からのサバイバル～名古屋に潜む直下型地震の脅威！	CTV
06/11/4 東海地震を知る！～沈黙の30年で見た巨大地震の姿～	CTV
07/1/13 峰竜太の地震ファイル 忍び寄る！直下型地震の脅威	THK
07/9/1 迫り来る！巨大地震⑦ あと10秒で出来ること	CBC
07/9/15 巨大地震からのサバイバル ～緊急地震速報！その数秒が生死をわける！！～	CTV
07/9/22 巨大地震！その時あなたは・・・ほじまる緊急地震速報	THK
08/8/30 迫り来る！巨大地震⑧ 被災地からの"警告"	CBC
08/9/14 岩手・四川を検証 巨大地震の真実 ～震度7の揺れが東海地方を襲う！！～	CTV
09/3/14 巨大地震前夜・あなたが知らないホントの危機	THK
09/9/13 家族の命を守る・巨大地震の教訓	CTV
09/9/26 迫り来る！天変地異	CBC
10/9/11 迫り来る！天変地異～東海豪雨から10年～	CBC

防災アカデミーのポスター(2010年度開催分から)



体感型振動・耐震・防災教材「ぶる」



地域防災交流ホール